

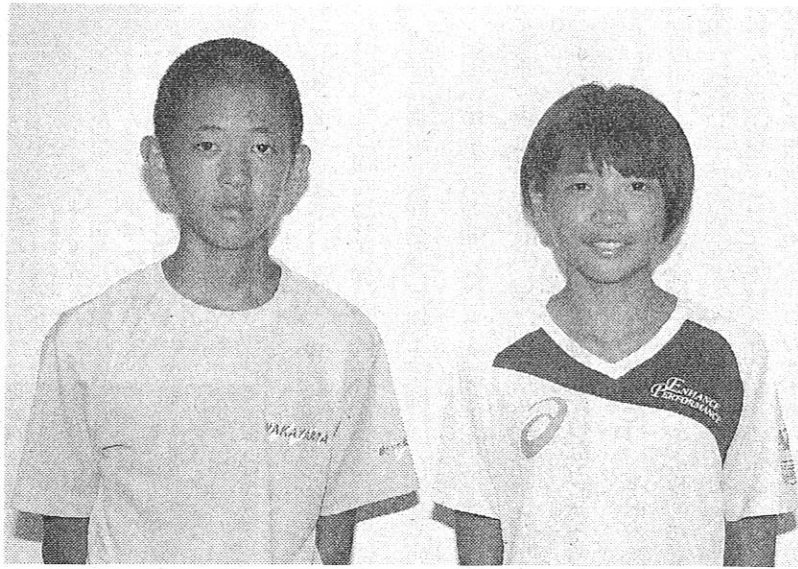
陸上競技

姉弟で国体出場

野村蒼さん(高神島) 優作君(高田工)

神島高校2年の野村蒼さん(17)と田辺工業高校1年の優作君(15)の姉弟が10月7～11日、岩手県北上市で開かれる国体の陸上競技に出場する。蒼さんは少年女子A3000以下、優作君は少年男子B3000以下で県代表に選ばれた。

和歌山陸上競技協会運営委員会などが、選手選考記録を突破した人や指導者の推薦を受けた人の中から審議し、代表選手を決めた。蒼さんは小学6年生のときに県市町村対抗駅伝に出場したのをきっかけに、中学校か



岩手国体陸上競技に出場する野村蒼さん(右)と優作君の姉弟

ら本格的に陸上競技を始めた。昨年は神島のメンバーとして全国高校駅伝にも出場した。

優作君も蒼さんの影響を受け中学校で陸上競技部に入った。2人とも長距離走が得意で3000以下の自己ベストは蒼さんが9分31秒、優作君が8分42秒。

姉弟での出場が決まり、家族も喜んでいてという。蒼さんは「ほかの選手に気持ちで負けず、自分なりの走りをして、自己ベストを更新したい」、優作君は「県代表として積極的な走りをして優勝を目指す」と話し、互いに励まし合っている。

陸上競技少年の部には、ほかに紀南から男子A400以下ハードルに成瀬隆之君(熊野高3年)、女子A走り幅跳びに瀧野理子さん(新宮高3年)が出場する。高校2、3年生は少年A、中学3年、高校1年生は少年Bに分かれる。